

県民・国民の皆様には、このような国の在り方をしっかりと目に焼き付け、心に留めていただき、法治国家そして、国民に主権があるとする民主主義国家としてあるまじき行為を繰り返す国に対し、共に声を上げ、共に行動していただきたいと思えます。

国は、一刻も早く工事を進めて規制事実を積み重ね、県民にあきらめさせようと躍起になっていますが、このような行為は、逆に沖縄県民の強い反発を招き、工事を強行すればするほど、県民の怒りはますます燃え上がるということを認識すべきであります。

現時点ではまだ埋立工事全体の一部がなされているにすぎず、また、工事の権限のないものによって違法に投入された土砂は、当然に原状回復させなければなりません。

また、今回、土砂投入を強行するとしても、今後、軟弱地盤等への対応が必要であり、辺野古新基地建設の完成は見通せないものであります。

私は、多くの県民の負託を受けた知事として、このゲート前にお集まりの県民・国民の皆様をはじめとして、県内また県外において行動する皆様、また、この問題の重さを受け止めている米国市民の皆様とともに、民主主義の力を信じ、毅然として行動する決意であります。

グスーヨー、マキティーナイビランドー

平成 30 年 12 月 14 日

沖縄県知事 玉城 デニー

「土砂投入中止を」と総がかり行動突らが防衛省前で抗議



沖縄・辺野古への米軍新基地建設をすすめる安倍政権が、民意を無視して強引に土砂投入をねらう緊迫した事態のもとで 13 日夜、防衛省前で緊急抗議が行われました。参加者は「土砂の投入いますぐ中止」「民意を尊重」と声をあげました。緊急抗議は、「総がかり行動実行委員会」と「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会が呼びかけ、市民ら 350 人が参加しました。

野党から日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の近藤昭一副代表、社民党の福島瑞穂副党首が参加し、「市民と野党が力を合わせ、新基地建設を止めよう」と訴えました。小池氏は、民意を無視して辺野古への

土砂を投入しようとする政府のやり方は、「無法につぐ違法です。とにかく土砂を投入して既成事実をつくり、諦めさせようとしています。絶対に許されない」と強調し、こうした安倍政権に対抗するためには、「私たちが忘れない、諦めない、共闘することです」と訴え、米軍新基地建設の問題でも野党は一致してたたかっていることを紹介し、「市民と野党が力を合わせれば、必ず止めることができます。共に頑張りましょう」と呼びかけました。

近藤氏は、民意を無視する安倍政権を厳しく批判。「こうした政府は倒さなければいけません。そのために野党は共闘していきます」とのべました。福島氏は、政府が強引な姿勢をすればするほど、「反対する声や行動は、かえって広がっていきます」と指摘し、力を合わせて政治を変えようとのべました。

沖縄からのメッセージが読み上げて紹介されました。また、首相官邸前で座り込みを行う仲間とのエール交換が行われ、憲法共同センターから安保破棄中央実行委員会の林竜二郎さんが発言、「政府が土砂投入を強行するのは、既成事実を積み上げて諦めさせそうとしているからだ。私たちは諦めないし、諦める必要はない。絶対に止める。これからも沖縄と心ひとつにがんばっていこう」と呼びかけました。

各地のとくくみ

東京・江戸川 「基地は日本の安全安心を脅かす存在」連続懇談会開催

えどがわ革新懇は、12 月 12 日、第 2 回連続懇談会を開催しました。沖縄での辺野古新基地建設土砂投入が重大局面を迎える中での懇談会です。「懇談会」は、その時々焦点になっている課題

を取り上げ、各団体に集まっていたいただき内容を深めるとともに共同行動についての進め方を協議・確認することを目的にして開催しています。今回も 20 団体 30 名ほどの方が集まり活発に意見交換がされました。

岩月康範日本平和委員会事務局次長が基調講演。岩月さんは、米軍基地と日本国憲法との関わりを歴史的な面からひもとくとともに、世界での米軍の動きと日本の米軍基地の役割などについて詳しく話されました。同時に、米軍の行動に対して世論と運動がその抑制力になっていることも力説され、参加者に大いに確信を与える講演となりました。次回は、「消費増税と憲法」を取り上げ開催。(伊藤辰久)

東京・西東京 2 駅頭 5 団地、宣伝カーで宣伝署名

3000 万署名を成功させる西東京連絡会主催で、11 月 22 日 10 時に田無駅を出発し、2 つの駅と 5 カ所の団地を、東京土建と西さんの車で一日かけて走り回りました。17 人の参加で革新懇のチラシ他 1300 枚以上の配布と駅頭署名 30 筆でした。

緊急な呼びかけと 12 月 23 日が市議会議員選挙もある中でしたが、革新懇加入の新婦人をはじめ 5 団体と戦争する国づくりを許さない会からの参加もありました。初めての行動で、団地での個別訪問はできませんでしたがやってみて良かったと思います。(今村)



(東京革新懇 mailfax ニュース 12 月 14 日号より)

富山 悪法強行の安倍政権に怒りスタンディング

富山県の「戦争する国」どくり反対共同行動実行委員会は 10 日昼、アベ 9 条改憲許さな・安倍内閣退陣を訴えて、富山駅前広場でスタンディング・アピールを行いました。

「悪法強行、安倍政治許さない」などのプラスターやのぼりをもって 50 人が参加。次々と自らの思いをマイクにぶつけました。

自由法曹団の水谷敏彦弁護士は「安倍首相が臨時国会で改憲を発議できなかったのは、われわれの運動の成果だ」。平和運動センターの道用悦子氏は「水道法、入管法など悪い法律が次々と強行された。私たちはもっと怒ろう」と呼びかけました。共産党の青山りょうすけ参院選挙候補は「安倍内閣は短時間で強行採決したが、力があるからではない。審議すると次から次とボロが出てくるからだ」と訴えました。

高教組書記次長の澤木潤一郎氏、民医連・橋本真琴氏、県労連事務局長・増川利博氏、平和運動センター・山崎彰議長もスピーチ。オールとやま県民連合・市民アクションとやまの土井由三氏が「市民と野党の共同を強め、参院選での 1 人区候補者を 1 本化で必ず勝利しよう」と呼びかけました。

安倍 9 条改憲 NO !

辺野古新基地建設は断念を !

安倍政権退陣 !

12.19 国会議員会館前行動

12月19日 水 18:30 ~ 第2議員会館前を中心に

19
日行動

主催：安倍 9 条改憲 NO ! 全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9 条壊すな ! 総がかり行動実行委員会